

# 微分積分学 II 中間試験問題 (2021年 12月)

氏名 \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_

1. 次の極限值が存在するか調べ, 存在する場合は極限值を求めよ. (各5点)

(1)  $\lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{x^3 y}{x^4 + y^4}$

(2)  $\lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{(x+y)^3}{x^2 + y^2}$

2. 次の関数  $f(x, y)$  が原点において連続であるか否かを判断し, 理由と共に答えよ. (6点)

$$f(x, y) = \begin{cases} \frac{\sin(2x^2 + 3y^2)}{2x^2 + 3y^2} & ((x, y) \neq (0, 0)) \\ 0 & ((x, y) = (0, 0)) \end{cases}$$

3. 次の関数  $f(x, y)$  の  $x$  に関する偏導関数  $f_x(x, y)$  を求めよ. (各4点)



(1)  $f(x, y) = x^2y + x \log y$        $f_x(x, y) =$  \_\_\_\_\_

(2)  $f(x, y) = \sin(2x - y)$        $f_x(x, y) =$  \_\_\_\_\_

(3)  $f(x, y) = \frac{x - y}{1 + xy}$        $f_x(x, y) =$  \_\_\_\_\_

(4)  $f(x, y) = x^2e^{xy}$        $f_x(x, y) =$  \_\_\_\_\_

4. 関数  $f(x, y)$  は  $f_x(x, y) = 2x + y$  および  $f_y(x, y) = x - 2y$  を満たすとする. 次の問いに答えよ. (各6点)



(1)  $f(x, y)$  と  $x(t) = t^2 + 1$ ,  $y(t) = 2t$  の合成関数  $z(t) = f(x(t), y(t))$  の導関数  $z'(t)$  を求めよ.

(2)  $f(x, y)$  と  $x(s, t) = s^2 + t^2$ ,  $y(s, t) = s^2 - t^2$  の合成関数  $z(s, t) = f(x(s, t), y(s, t))$  の偏導関数  $z_t(s, t)$  を求めよ.

5.  $f(x, y) = e^x \cos y$  の全微分  $df$  を求めよ. (5点)

6. 次の関数  $f(x, y)$  のマクローリン展開を指定の項まで求めよ. ただし, 剰余項は求めなくてよい. ((1) 8点 (2) 7点)

(1)  $f(x, y) = \log(1 - x + 2y)$  (2次まで)

(2)  $f(x, y) = \sin x \cos y$  (3次まで)

7. 関数  $f(x, y) = e^{2x} \tan y$  について, 次の問いに答えよ.

(1)  $f_{xxxy}(x, y)$  を求めよ. (5点)

(2)  $f(x, y)$  のマクローリン展開における  $x^3y$  の係数を求めよ. (4点)

8. 曲面  $z = f(x, y) = 2\sqrt{x^2 - y}$  上の点  $P(1, 0, f(1, 0))$  における接平面の方程式, および  $yz$  平面と平行な接線の方程式を求めよ. (10点)



9.  $f(x, y) = y^3 - 2y^2 - xy + 2x$  とするとき, 次の問いに答えよ.



- (1)  $f(x, y) = 0$  で定まる陰関数  $y = \varphi(x)$  が存在するとき,  $\varphi(x)$  の導関数  $\varphi'(x)$  を  $x, y$  を用いて表せ. (6点)

- (2) 点  $(1, -1)$  は曲線  $C: f(x, y) = 0$  上の点である. 陰関数定理を用いて,  $x = 1$  のまわりで定義される微分可能な陰関数  $y = \varphi(x)$  で  $-1 = \varphi(1)$  を満たすものが存在することを説明せよ. また, 点  $(1, -1)$  における  $C$  の接線の傾きを求めよ. (6点)

- (3) 曲線  $f(x, y) = 0$  上の特異点を求めよ. (5点)